

令和8年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 鎌倉女子大学

研究科(専攻)： 児童学研究科

※各大学窓口担当者各位：このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別に御用意ください

(履修申請受付期間： 2026 年 4 月 4 日 ~ 2026 年 4 月 22 日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
表現文化研究特論	表現文化を地域のアート活動に関わる記録(ドキュメンテーション)から捉え、研究の視座を獲得する。テキストの講読をふまえて(1)表現文化の原理、(2)口承文化(語り、オーラル・ヒストリー、物語)と教育、(3)歴史伝承(文化財、民俗文化、プロジェクト)と教育、(4)表現文化を支える施設・人・行政を論じていく。テキスト及び関連する文献の講読とディスカッション、レポート作成・発表を行う。2026年度は災害伝承に着目し、東日本大震災に関する伝承・祈念施設とアートプロジェクトのドキュメンテーションを題材とする。	久保内加菜	2	月	1	大学院 講義室 D	若干名
表現文化研究演習 I (音楽)	この授業では音楽における表現文化について講義と演習授業を通して研究する。教育教材の枠から離れ、日本の伝統音楽、グレゴリオ聖歌からはじまる西洋音楽、また異文化における民族音楽の比較、分析を行い、様々なジャンルの音楽表現を教育現場で活用できるよう考察する。	渡辺宏章	2	月	4	大学院 講義室 C	若干名
特別支援教育特論	障害のある子どもの教育に関連して、ICFについて理解し、特別支援教育はすべての学校で進められていくべき教育であり、インクルーシブ教育の推進についての理解が深まるよう授業を展開する。特別支援教育の対象である様々な障害の発達特性と指導方法について理解を深める。さらに、特別支援教育におけるアセスメントの活用について学ぶ。	田中みか	2	水	2	大学院 講義室 B	若干名

令和8年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 鎌倉女子大学

研究科(専攻)： 児童学研究科

教職特論	現在,教育現場で起きている様々な問題について,その状況や要因を日本とフィンランドの教育を比較考察することで理解し,その解決策を考えることを通じて,望ましい教師のあり方について考え気づくことを目標とする授業では映像資料や3冊の教科書,学校で起こった事例などを教材に,事前のレポート作成や討論などを通じて,現在学校で問題となっていることに教師としてどう対応していけばいいのかを主体的に考えるようにしていく。	北村明裕	2	木	4	大学院講義室B	若干名
教育基礎理論特論	日本において,教育像や教育政策の転換は中教審の答申やその結果としての学習指導要領の改訂によって語られることが多い。しかしながら,そうした議論の前提には,OECDでの議論や調査が大きく影響していることに注目しておく必要がある。そこでこの授業では,OECDの資料を読み解きながら,教育の基本動向について分析していくこととする。	稲川英嗣	2	火	2	大学院講義室D	若干名
世界の教育・文化特論	現代の教育改革の動向をふまえながら,学校教育を中心とした特色ある教育について,比較教育学的視点をもって学ぶ。諸外国の教育改革が社会・経済状況,独自の文化を反映していることを理解し,日本の学校教育・教育文化との比較を通じて,教育の意義と課題を考察する。	鈴木樹, 久保内加菜	2	水	3	大学院講義室D	若干名
教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	これまで学んできた「教育心理学」をさらに掘り下げ,実際に教育現場等でどのような問題が生じているのか,そのことを明らかにするのにどのような研究が行われているのか,そして,どのような解決が可能なのか,といったことについて考えていく。	遠山孝司	2	木	2	大学院講義室B	若干名

令和8年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト

大学： 鎌倉女子大学

研究科(専攻)： 児童学研究科

教育社会学特論	<p>教育社会学は、教育と社会の相互作用を研究する学問です。この分野では、教育が社会に与える影響や、社会が教育に与える影響を分析し、教育現象を社会的、文化的、経済的な視点から理解しようとしています。本授業では、社会階層や文化資本など伝統的に教育社会学が扱ってきたトピックに加え、近年の教育社会学・教育経済学に関する最新の研究動向を把握していきます。授業は、セミナー形式で実施します。受講者は、指定された文献のディスカッションを行い、学期末には自らの研究テーマに基づいたプレゼンテーションを発表します。これらを通じて、教育現象を分析するための諸理論と方法論を実務的に応用できる能力を身につけるとともに、定量的・定性的な研究論文を精査し、批判的な評価を行う力を養うことを目指します。</p>	福井文威	2	金	3	大学院 講義室 B	若干名
---------	---	------	---	---	---	-----------------	-----

令和8年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 鎌倉女子大学

研究科(専攻)： 児童学研究科

(履修申請受付期間： 2026 年 9 月 14 日 ~ 2026 年 9 月 29 日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
児童学総合研究特論	本研究特論は、児童の健全育成に関する研究を総合的に展望し、少子化、情報化、グローバル化などにより大きく変化した児童を取り巻く環境の中で、新しい時代に生きる力の育成について検討する。	松田広則	2	火	3	大学院 講義室 D	若干名
教育課程・指導法特論	この授業では、戦前・戦後の日本の小学校教育の実践記録を読み、幼稚園と小学校の教育課程・指導法の比較を行います。これらを通して、過去・現在・未来における教育課程(カリキュラム)と指導法について考えます。 その際、授業担当者が持っている戦後の教科書を実際に見てみます。また、学習指導要領改定の動向について、教育課程企画特別部会「論点整理」(令和7年9月25日)を見て、考えます。 内容や進度については、受講者とも相談しながら、適宜、変更していきます。	鈴木樹	2	水	3	大学院 講義室 D	若干名
障害児の心理と教育	この科目では、ICFによる障がいの概念を基本に、知的障がい、自閉スペクトラム症/自閉スペクトラム障害(ASD)、注意欠如・多動/注意欠如・多動性障害(ADHD)の心理特性や教育支援のあり方について検討する。	吉村拓馬	2	月	5	大学院 講義室 B	若干名
小学校英語演習	本講義では、外国語活動の理念や指導法を理解するとともに、第二言語習得論(臨界期、気づき、フィードバックなど)について学ぶ。また、国内外の文献講読を行いながら、様々な研究手法や統計分析法について理解を深める。	桐生直幸	2	月	4	大学院 講義室 B	若干名

特記事項

--

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 相模女子大学大学院

研究科(専攻): 専門職学位課程 社会起業研究科 社会起業専攻

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 :2026年3月24日~2026年4月3日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
産業心理学	*春学期後半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	菅沼 崇	1	月	6	シラバス参照	若干名
経営戦略論	*春学期 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	金森 剛	2	火	6	シラバス参照	若干名
応用経済学	*春学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	湧口 清隆	1	金	6	シラバス参照	若干名
地域活性化論	*春学期 *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	依田 真美	2	土	3	シラバス参照	若干名
地域産業論	*春学期後半 *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	湧口 清隆	1	土	2	シラバス参照	若干名
サステナビリティ・マネジメント論	*春学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	九里 徳泰	1	水	6	シラバス参照	若干名
ダイバーシティと社会変革	*春学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	白河 桃子	1	木	6	シラバス参照	若干名
市民都市論	*春学期後半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	依田 真美	1	木	6	シラバス参照	若干名
社会制度と起業	*春学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	田中 啓之	1	月	6	シラバス参照	若干名
組織開発演習	*春学期集中 *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	依田 真美	1	その他	集中	シラバス参照	若干名
感性価値クリエイション	*通年集中 *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	塚本 千晶	1	その他	集中	シラバス参照	若干名

(履修申請受付期間 :2026年8月18日~2026年8月28日)

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 相模女子大学大学院

研究科(専攻): 専門職学位課程 社会起業研究科 社会起業専攻

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
企業倫理とCSR	*秋学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	九里 徳泰	1	火	6	シラバス参照	若干名
流通システム論	*秋学期 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	久保 康彦	2	火	6	シラバス参照	若干名
ソーシャル・イノベーション論	*秋学期 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	依田 真美	2	金	6	シラバス参照	若干名
コミュニティと建築	*秋学期前半 *オンライン *科目の内容および授業形態はシラバスをご確認ください。	桑原 茂	1	水	6	シラバス参照	若干名

特記事項

2026年度科目のシラバスは3月1日以降に公開予定です。
時間割は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 松蔭大学

研究科(専攻): 経営管理研究科

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 :2026年4月4日 ~2026年4月11日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
戦略経営講義		佐久間信夫	2	土	1		5
マーケティング講義		宮崎 隆	2	土	2		5
企業法講義		新城 将孝	2	土	3		5
租税法講義		柳 裕治	2	土	4		5
経営管理講義		清水健太	2	土	4		5
企業評価講義		仲 伯維	2	土	5		5

(履修申請受付期間 :2026年9月8日 ~2026年9月12日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
戦略経営応用		佐久間信夫	2	土	1		5
マーケティング応用		宮崎 隆	2	土	2		5
企業法応用		新城 将孝	2	土	3		5
租税法応用		柳 裕治	2	土	4		5
経営管理応用		清水健太	2	土	4		5
企業評価応用		仲 伯維	2	土	5		5

特記事項

本研究科において受講生がない場合、開講しない場合がある。

**令和8年(2026年)度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学： 昭和医科大学

研究科(専攻)： 保健医療学研究科

※各大学窓口担当者各位：このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別に御用ください

(履修申請受付期間： 令和8年 4月 1日 ~ 令和8年 4月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
運動系リハビリテーション学特論	運動器疾患に対する評価と理学療法およびアスレティックリハビリテーションを実践するために、アライメントからみたりハビリテーションの考え方を学修する。また、障がい者スポーツを含めたスポーツ現場での対応を理解し、国際的な感覚を身につけるために米国の理学療法士を招聘し、その実際を学ぶ。	加賀谷 善教 他	2	※1	※1	※1	5名
食看護学	健康と食事には密接な関連がある。食看護学とは、栄養や食事から人々の健康を守り、看護するという学問であり、疾病に関する食事療法や健康増進に関する栄養補給方法などを看護(ケア)の視点から学ぶことができる。講義では、基本的な栄養学の知識から実践的な栄養療法までの基本を教授する。受講対象者は主に医療関係者とするが一般大学院生の受講も可能である。	安部 聡子	2	※1	※1	※1	10名
診療画像技術学特論	医療画像を単純X線画像、X線CT画像、MRI画像、核医学画像、超音波画像等を撮影手法別に整理することにより、診断画像に対する実践的な考え方を学修する。そして、撮影手法別に典型疾患例を取り上げ、症例を相互に比較することにより画像診断の基礎を学ぶ。	佐藤 久弥	2	※1	※1	※1	5名
生理学特論	医療系学部にて解剖生理学を修了した大学院生を対象とし、講師の専門分野である呼吸、歩行運動、痛みの生理学的理解を深めることを目的に、代表的な論文を講読する。	飯塚 眞喜人	2	※1	※1	※1	3名
放射線医学物理学特論	保健物理学/放射線防護学、放射線診断物理学、核医学物理学、放射線治療物理学、放射線計測学、画像情報学における医学物理学研究の学修を行い、医学物理士の業務に実践できる能力を習得する。	宮浦 和徳	2	※2	※2	※2	3名

特記事項

※1 受講日時、場所については受講者と相談の上、決定します。

※2 受講日時、場所については受講者へ後日連絡します。

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト

大学: 女子美術大学

研究科(専攻): 美術研究科

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使います。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 2026 年 4 月 4 日 ~ 2026 年 4 月 9 日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能 学生数
アジア美術史特講	シラバスご参照ください https://aa.joshiabi.net/aa_web/syllabus/se0010.aspx?me=EG&opi=mt0010	檜山 満照	2	木	3	未定	若干名

特記事項

--

聖マリアンナ医科大学

2026年度 大学院医学研究科

総合教育科目 (必修科目)

I (5/9～6/27)

II (7/11～9/26)

III (10/24～12/12)

※一部の講義を除き Web Class を用いたオンデマンド型
講義形式にて実施

対面式講義 開講場所:

日時	講義内容	場所
5/9(土)	動物実験に関する教育訓練	医学部 3 階大学院講義室 1・2
5/9(土)	臨床研究に関する教育訓練	医学部 3 階大学院講義室 1・2
5/23(土)	遺伝子組換え実験に関する教育訓練	医学部 3 階大学院講義室 1・2

2026年度講義シラバス 総合教育科目（I）

講義コード	※	専攻分野	全専攻分野共通		
講義題目	総合教育科目(I) 医学研究の概要と基礎		必修/選択	必修	
担当教員	下記		担当教員連絡先	下記	
単位数	1		履修時期	前期（5/9 - 6/27）	
履修年次	1年		曜日・時限	下記	
テーマと目的	研究に関する教育訓練、研究手法の紹介。				
講義計画	研究遂行に必要な教育訓練を行い、研究を開始するにあたって必要な情報収集およびその評価方法を解説し、基本的な研究手法とその応用方法を紹介する。				
達成目標	1. 研究に着手するために必要な教育訓練を受講する。 2. 研究構想を練るのに必要な知識を獲得する。 3. 基本的な基礎研究手技とその応用方法を学ぶ。				
教科書・参考書	別途、担当教員が指示する。				
準備学習 (予習・復習)	各講義担当教員より事前に配付された資料を良く読むこと。 配付された資料については個々で保管し、授業後には必ずレポートを提出すること。				
成績評価法	出席と講義内での発表また受講態度、および筆記試験による総合評価。				
卒業認定・学位授与 の方針との関連性	高い医学・研究倫理の基に研究計画を立案し、正しく実験を遂行する能力を習得する。				
回	日時	時限	担当教員	連絡先 (内線)	講義内容
1	5/9(土)	9:00～	※1 藤井 亮爾	3606	動物実験に関する教育訓練(1)
2	5/9(土)	10:00～	※1 藤井 亮爾	3606	動物実験に関する教育訓練(2)
3	5/9(土)	11:00～	※2 木田 圭亮	3531	臨床研究に関する教育訓練(1)
4	5/9(土)	12:00～	※2 木田 圭亮	3531	臨床研究に関する教育訓練(2)
5	5/23(土)	9:00～	※3 佐藤 知雄	4007	遺伝子組換え実験に関する教育訓練(1)
6	5/23(土)	10:00～	※3 佐藤 知雄	4007	遺伝子組換え実験に関する教育訓練(2)
7	5/23(土)	11:00～	古屋 直樹	80988	多施設共同研究のインパクトと遂行方法
8	5/23(土)	12:00～	仁平 直江	5407	学術論文の読み方、書き方
9	6/13(土)	9:00～	有戸 光美	3521	明日にでも始められる基礎研究－基本手技とその目的
10	6/13(土)	10:00～	有戸 光美	3521	先端医学研究施設の機器の使用方法和その応用
11	6/13(土)	11:00～	砂川 優	3316	研究手法(1) ゲノム・遺伝子解析
12	6/13(土)	12:00～	藤井 亮爾	3606	研究手法(2) 遺伝子改変マウスの意義
13	6/27(土)	9:00～	鈴木 真奈絵	3521	研究手法(3) 臨床検体を用いた研究
14	6/27(土)	10:00～	遊道 和雄	4029	研究手法(4) スクリーニングの意義
15	6/27(土)	11:00～	—	—	評価(試験)

※1 動物実験委員会・担当者

※2 臨床試験部会長

※3 遺伝子組換え実験安全委員長

2026年度講義シラバス 総合教育科目（Ⅱ）

講義コード	※	専攻分野	全専攻分野共通		
講義題目	総合教育科目(Ⅱ) 医学研究の倫理と科学			必修/選択	必修
担当教員	下記		担当教員連絡先	下記	
単位数	1		履修時期	前期（7/11 - 9/26）	
履修年次	1年		曜日・時限	下記	
テーマと目的	医学的な統計の意義、医学研究を行う環境の理解。				
講義計画	医学研究等における科学と倫理を学び、それらに基づいた研究計画の立案、治験のルールなどについて概説する。				
達成目標	1. 医学統計学を理解し、研究結果について統計学的に妥当な解釈ができるようになる。 2. 研究実行上、遵守すべき事項を理解し、研究活動が障害なく進められるようになる。 3. 個人情報保護、薬物乱用防止、遺伝子情報など医師・研究者の留意事項を理解する。				
教科書・参考書	1. 厚生労働省 医学研究に関わる指針一覧(厚生労働省ホームページ) 2. その他、担当教員が別途指示する。				
準備学習 (予習・復習)	各講義担当教員より事前に配付された資料を良く読むこと。 配付された資料については個々で保管し、授業後には必ずレポートを提出すること。				
成績評価法	出席と講義内での発表また受講態度、および筆記試験による総合評価。				
卒業認定・学位授与 の方針との関連性	高い医学・研究倫理の基に自身の研究を遂行し、正しく実験データを解析する能力を習得する。				
回	日時	時限	担当教員	連絡先 (内線)	講義内容
1	7/11(土)	9:00～	田辺 健一郎	4225	医学統計学(1) 様々な臨床データの扱い方(1)
2	7/11(土)	10:00～	田辺 健一郎	4225	医学統計学(2) 様々な臨床データの扱い方(2)
3	7/11(土)	11:00～	上野 隆彦	4848	医学統計学(3) ランダム化と交絡
4	7/11(土)	12:00～	上野 隆彦	4848	医学統計学(4) 仮説検定
5	7/25(土)	9:00～	上野 隆彦	4848	医学統計学(5) 研究計画について
6	7/25(土)	10:00～	北岡 康史	3252	研究倫理
7	7/25(土)	11:00～	※4生命倫理委員会	3223	医学研究と生命倫理
8	7/25(土)	12:00～	※5小森 学	3262	個人情報保護法
9	9/12(土)	9:00～	※6山野 嘉久	4029	産官学共同研究について(利益相反)
10	9/12(土)	10:00～	中川 敦夫	3202	薬物乱用防止と研究者のメンタルヘルスマネジメントについて
11	9/12(土)	11:00～	山本 博幸	3380	ゲノム医学について
12	9/12(土)	12:00～	山本 博幸	3380	バイオインフォマティクスについて
13	9/26(土)	9:00～	右田 王介	3159	遺伝情報の取り扱いについて
14	9/26(土)	10:00～	門野 岳史	3238	EBM-概論および根拠収集法
15	9/26(土)	11:00～	—	—	評価(試験)

※4 生命倫理委員長

※5 大学病院 個人情報保護委員長

※6 利益相反管理委員長 (研究科長)

2026 年度講義シラバス 総合教育科目（Ⅲ）

講義コード	※	専攻分野	全専攻分野共通		
講義題目	総合教育科目(Ⅲ) 医学研究成果の社会還元			必修/選択	必修
担当教員	下記		担当教員連絡先	下記	
単位数	1		履修時期	後期（10/24 - 12/12）	
履修年次	1年		曜日・時限	下記	
テーマと目的	医学研究成果の公表と社会還元、また、医学研究者としての一般的留意事項。				
講義計画	研究成果の学術論文としての公表、特許取得、実用化による社会還元について概説する。 また、医師・医学研究者としての一般的留意事項を概説する。				
達成目標	1. 研究成果の公表が遅滞なく効果的に行うことができる。 2. 研究成果を速やかに社会還元しうる成果の判別、またその問題について理解する。				
教科書・参考書	別途、教員が指示する。				
準備学習 (予習・復習)	各講義担当教員より事前に配付された資料を良く読むこと。 配付された資料については個々で保管し、授業後には必ずレポートを提出すること。				
成績評価法	出席と講義内での発表また受講態度、および筆記試験による総合評価。				
卒業認定・学位授与 の方針との関連性	医学論文を執筆する能力および学会で発表し議論する能力を習得する。 国際的視野に立ち医学を研究し、研究結果を人類社会に貢献できる能力を習得する。				
回	日時	時限	担当教員	連絡先 (内線)	講義内容
1	10/24(土)	9:00～	望月 篤	4850	学術論文として公表まで一查読システムー
2	10/24(土)	10:00～	田嶋 宏子	4160	学位論文等における英語の注意事項(1)
3	10/24(土)	11:00～	田嶋 宏子	4160	学位論文等における英語の注意事項(2)
4	10/24(土)	12:00～	田嶋 宏子	4160	学位論文等における英語の注意事項(3)
5	11/14(土)	9:00～	長谷川 潤一	82018	学術論文作成(1) 臨床研究における論文作成
6	11/14(土)	10:00～	宮部 斉重	3547	学術論文作成(2) 基礎研究における論文作成
7	11/14(土)	11:00～	※7 山野 嘉久	3150	医薬品の臨床試験の実施基準ー治験GCP
8	11/14(土)	12:00～	山野 嘉久	3150	診療ガイドライン作成方法と臨床疑問の構造化
9	11/28(土)	9:00～	柴垣 有吾	3300	生成 AI が医師のキャリアにもたらす光と影 ー臨床・研究・教育の未来を考える
10	11/28(土)	10:00～	水嶋 崇一郎	3514	①海外における人類学的フィールドワーク ②学術情報機関リポジトリ(MIRAI)の紹介
11	11/28(土)	11:00～	竹村 弘	3539	学会・研究会における口頭発表とポスター発表
12	11/28(土)	12:00～	※8 清水 初志	-	研究成果の社会還元ー特許性と特許出願
13	12/12(土)	9:00～	望月 篤	4850	博士課程修了後における指導方法等について
14	12/12(土)	10:00～	鈴木 真奈絵	3521	研究者としての生涯構想
15	12/12(土)	11:00～	-	-	評価(試験)

※7 治験管理室長

※8 外部講師

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 田園調布学園大学大学院

研究科(専攻): 人間学研究科

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年4月8日 ~ 令和8年4月16日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
人間学総論	シラバス参照	米山 光儀	2	土	2	未定	3
人間学概論Ⅴ(自然と人間)	シラバス参照	仙田 考	2	金	6	未定	3
教育学特殊研究	シラバス参照	米山 光儀	2	土	3	未定	3
子どもとアート論	シラバス参照	安村 清美 斉木 美紀子	2	水	6	未定	3

(履修申請受付期間: 令和8年9月25日 ~ 令和8年10月2日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
人間学概論Ⅳ(芸術と人間)	シラバス参照	安村 清美 三政 洋一	2	火	7	未定	3
学び学特論	シラバス参照	生田 久美子	2	土	2	未定	3
教育的ケアリング特論	シラバス参照	吉國 陽一	2	火	7	未定	3
子ども思想史特論	シラバス参照	杉下 文子	2	水	7	未定	3
子ども・子育て支援実践研究	シラバス参照	犬塚 典子	2	金	6	未定	3
子どもとことば論	シラバス参照	内藤 知美	2	火	6	未定	3
子ども環境学特論	シラバス参照	仙田 考	2	月	7	未定	3

特記事項

正規学生の履修者がいない場合には授業を開講しません。履修期間と授業開始時期は重複しているため、受講可否がでるまで授業に参加してください。一部、オンライン(Zoom)での遠隔授業になる可能性があります。

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト

大学： 桐蔭横浜大学

研究科(専攻)： 法学研究科法律学専攻

※各大学窓口担当者各位：このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間： 2026年 4月 3日 ~ 2026年 4月 9日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能 学生数
比較法学 I	現代の中国法は、中国固有法を基礎にして、旧ソ連の法、大陸法、英米法、日本法等の先進理論及び制度を導入しながら、構築されたユニークな法システムである。本授業では、日本法と比較する視点から、中国法における制度、理念及び実務状況について考察と分析を行う。	韓寧	2	火	4	II-514	若干名

(履修申請受付期間： 2026年 9月 4日 ~ 2026年 9月 10日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能 学生数
刑事法学研究 I	本授業では、刑法総論上の重要なテーマを中心に扱う。事例問題などを素材としながら、学説状況、学説の対立点、重要判例などに検討を加えていく。各テーマにつき、報告者に報告してもらい、参加者全員で議論しながら進めていくことを予定している。	箭野章五郎	2	金	3	II-514	若干名

特記事項

--

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 東京工芸大学

研究科(専攻): 工学研究科(工学専攻)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使います。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 2026年 4月 8日 ~ 2026年 4月 19日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
機構学特論	シラバスを本学HPに掲載	福井 貴大	2	月	3		
推進工学特論	シラバスを本学HPに掲載	上野 一磨	2	水	2		
電子回路特論	シラバスを本学HPに掲載	崔 通	2	金	1		
電子材料学特論A	シラバスを本学HPに掲載	小林 信一	2	火	3		
デジタル映像特論	シラバスを本学HPに掲載	森山 剛	2	水	1		若干名
ヒューマン情報処理特論	シラバスを本学HPに掲載	神原 裕行	2	金	4		
システム開発管理特論	シラバスを本学HPに掲載	北村 光芳	2	木	3		
配位化学特論	シラバスを本学HPに掲載	大嶋 正人	2	金	1		
無機化学特論	シラバスを本学HPに掲載	南部 典稔	2	火	4		
建築振動学特論	シラバスを本学HPに掲載	金 容徹	2	木	3		
構造解析学特論	シラバスを本学HPに掲載	松井 正宏	2	水	3		
自然災害科学特論	シラバスを本学HPに掲載	松井 正宏	2	月	2		
建築史特論Ⅱ	シラバスを本学HPに掲載	海老澤 模奈人	2	月	2		
熱・湿気学特論	シラバスを本学HPに掲載	義江 龍一郎	2	火	2		
確率・統計特論	シラバスを本学HPに掲載	松井 正宏	2	水	4		
室内空気環境特論	シラバスを本学HPに掲載	山本 佳嗣	2	木	3		
環境実験法特論	シラバスを本学HPに掲載	玄 英麗	2	金	1		

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学: 東京工芸大学

研究科(専攻): 工学研究科(工学専攻)

(履修申請受付期間： 2026年 9月 10日 ~ 2026年 9月 14日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能 学生数
計測信号処理特論A	シラバスを本学HPに掲載	辛 徳	2	月	3		
ロボットビジョン特論	シラバスを本学HPに掲載	鈴木 秀和	2	木	1		
現代制御特論	シラバスを本学HPに掲載	大海 悠太	2	火	2		
光電工学特論	シラバスを本学HPに掲載	内田 孝幸	2	月	2		若干名
電磁波工学特論	シラバスを本学HPに掲載	越地 福朗	2	水	3		
薄膜工学特論	シラバスを本学HPに掲載	安田 洋司	2	水	2		
デジタル信号処理特論	シラバスを本学HPに掲載	行谷 時男	2	金	1		
量子力学特論	シラバスを本学HPに掲載	江崎 ひろみ	2	火	4		
光学設計特論	シラバスを本学HPに掲載	豊田 光紀	2	火	2		
感性情報工学特論	シラバスを本学HPに掲載	田村 徹	2	月	3		若干名
メディア符号化特論	シラバスを本学HPに掲載	上倉 一人	2	水	4		
コンピューテーショナル・インテリ ジェンス特論	シラバスを本学HPに掲載	片上 大輔	2	水	2		
情報システム特論	シラバスを本学HPに掲載	北島 良三	2	火	3		
無機材料化学特論	シラバスを本学HPに掲載	松本 里香	2	火	4		
有機機能材料	シラバスを本学HPに掲載	山田 勝実	2	火	2		
先端材料科学	シラバスを本学HPに掲載	比江島 俊浩	2	火	3		
建築設計計画特論 I	シラバスを本学HPに掲載	八尾 廣	2	火	2		
風環境計画特論	シラバスを本学HPに掲載	玄 英麗	2	木	3		
防災工学特論	シラバスを本学HPに掲載	金 容徹	2	木	3		
耐風設計特論	シラバスを本学HPに掲載	吉田 昭仁	2	水	2		
空気調和計画特論	シラバスを本学HPに掲載	山本 佳嗣	2	水	3		
流体力学特論	シラバスを本学HPに掲載	義江 龍一郎	2	月	1		

特記事項

--

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学: 東京都市大学

研究科(専攻): 環境情報学研究科(環境情報学専攻)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 2026年4月6日～2026年4月7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
【前期前半】							
現代社会のマスメディア	WEBシラバスをご参照ください。	奥村・伊澤	2	月	1.2	未定	
知能科学	WEBシラバスをご参照ください。	大谷・岩野	2	火 木	3	未定	
都市環境モデリング	WEBシラバスをご参照ください。	史・丹羽	2	月	3.4	未定	
メディア技術と社会	WEBシラバスをご参照ください。	小倉 他	2	金	3・4	未定	
【前期後半】							
環境法・政策学	WEBシラバスをご参照ください。	古川(務)・岡田 (啓)	2	金	3.4	未定	
情報デザイン論	WEBシラバスをご参照ください。	小池	2	金	3.4	未定	
認知科学特論	WEBシラバスをご参照ください。	岡部・関(博)	2	月 木	3 4	未定	
地球規模問題解決型イ ノベーション論	WEBシラバスをご参照ください。	古川(柳)・鶴見	2	水	1・2	未定	
環境経営科学	WEBシラバスをご参照ください。	岡田(公)・長沢	2	木	1.2	未定	
文化とコミュニケーション	WEBシラバスをご参照ください。	矢吹・山崎	2	木	2.3	未定	
メディア情報処理	WEBシラバスをご参照ください。	宮地・中村(裕)	2	火	3.4	未定	
情報ネットワークとセキュリ ティ	WEBシラバスをご参照ください。	浅香・騫	2	木	2.3	未定	
環境建築学	WEBシラバスをご参照ください。	リジャル・鶴見	2	金	3.4	未定	

(履修申請受付期間: 2026年9月7日～2026年9月8日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
【後期前半】							

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 東京都市大学

研究科(専攻): 環境情報学研究科(環境情報学専攻)

情報システムとビジネス	WEBシラバスをご参照ください。	増田・賈	2	月 木	4 2	未定	
自然共生システム	WEBシラバスをご参照ください。	飯島・内田	2	金	1.2	未定	
地域環境計画論	WEBシラバスをご参照ください。	横田・後藤	2	水	1.2	未定	
社会調査とデータ分析	WEBシラバスをご参照ください。	広田・周	2	金	3.4	未定	
【後期後半】							
環境影響評価学	WEBシラバスをご参照ください。	佐藤(剛)・兵法	2	月	1.2	未定	
環境リスク社会論	WEBシラバスをご参照ください。	木下・未定	2	火	1.2	未定	
情報社会論	WEBシラバスをご参照ください。	中村(雅)・奥村	2	月	3.4	未定	
連続系と離散系のモデリング	WEBシラバスをご参照ください。	小倉・三川	2	火 木	3 4	未定	
環境保全学	WEBシラバスをご参照ください。	咸・北村	2	木	3・4	未定	
環境コミュニケーション論	WEBシラバスをご参照ください。	佐藤(真)・未定	2	木	1・2	未定	
Environmental and Social Systems	WEBシラバスをご参照ください。	フォードリー	2	金	1.2	未定	

特記事項

前期前半(4/10~6/3) クォーター開講・週2回授業
 前期後半(6/8~7/25) クォーター開講・週2回授業
 前期(4/10~7/25) セメスタ開講・週1回授業

後期前半(9/24~11/17) クォーター開講・週2回授業
 後期後半(11/21~1/25) クォーター開講・週2回授業
 後期(9/24~1/25) セメスタ開講・週1回授業

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 東京都市大学

研究科(専攻)： 環境情報学研究科(都市生活学専攻)

※各大学窓口担当者各位：このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間： 2026 年 4 月 6 日 ~ 2026 年 4 月 7 日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
【前期前半】							
都市のリサーチメソッド演習	WEBシラバスをご参照ください。	西山・北見	1	木	2.3	未定	
【前期後半】							
都市経営特論	WEBシラバスをご参照ください。	北見・川口(和)・永江・菊池	2	木	1.2	未定	
建築デザイン特論	WEBシラバスをご参照ください。	高柳・中島	2	火	3.4	未定	
都市デザイン特論	WEBシラバスをご参照ください。	川口(英)・中島	2	月	3.4	未定	
都市のアクションリサーチ	WEBシラバスをご参照ください。	坂倉・末繁	2	水	1.2	未定	

(履修申請受付期間： 2026 年 9 月 7 日 ~ 2026 年 9 月 8 日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
【後期前半】							
グローバル都市ビジネス特論	WEBシラバスをご参照ください。	宇都・太田・ドリァンダ	2	金	3.4	未定	
【後期後半】							
都市システム特論	WEBシラバスをご参照ください。	西山・齋藤・林	2	月	1.2	未定	
都市プランニング特論	WEBシラバスをご参照ください。	明石・坂井・諫川	2	木	1.2	未定	

特記事項

前期前半(4/10~6/3) クォーター開講・週2回授業
 前期後半(6/8~7/25) クォーター開講・週2回授業
 前期(4/10~7/25) セメスタ開講・週1回授業

後期前半(9/24~11/17) クォーター開講・週2回授業
 後期後半(11/21~1/25) クォーター開講・週2回授業
 後期(9/24~1/25) セメスタ開講・週1回授業

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 東京都市大学

研究科(専攻): 情報データ科学研究科(情報データ科学専攻)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 2026年4月6日～2026年4月7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
2026年度							
提供科目なし							

(履修申請受付期間: 2026年9月7日～2026年9月8日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
2026年度							
提供科目なし							

特記事項

前期前半(4/10～6/3) クォーター開講・週2回授業
 前期後半(6/8～7/25) クォーター開講・週2回授業
 前期(4/10～7/25) セメスタ開講・週1回授業

後期前半(9/24～11/17) クォーター開講・週2回授業
 後期後半(11/21～1/25) クォーター開講・週2回授業
 後期(9/24～1/25) セメスタ開講・週1回授業

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源生産科学専攻(博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 I	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。生物資源の確保、開発、利用等に係る諸問題について、生物資源生産科学、生物資源利用科学、応用生命科学、生物環境科学、生物資源経済学の各領域の立場から講述し、これらの境界領域を埋め、総合化を図る。	松本 礼史	4	前期 月	1~ 2	31	若干名
植物資源生産学特講	本講は栽培植物の生産性と品質の向上に関して、作物、育種、園芸、生産環境の各分野について、栽培植物の生理・生態学、あるいは遺伝・育種学に関する過去の成果を紹介するとともに、新しい情報を講義する。	立石 亮	2	前期 月	5	32	若干名
動物資源生産学特講	畜産物需要の増大に対応した動物生産の効率化、品質向上、環境負荷の低減に関する飼料、栄養、飼養技術等について最近の研究成果を中心に講述する。	佐伯 真魚	2	前期 水	3	155	若干名
水圏生物資源学特講	水圏生物の持続的な資源利用や生物多様性の保全を実現していくためには、水圏生物の資源特性に関する高度な専門知識が求められる。本講義では、水圏生物資源の先端的な研究成果を学ぶことにより、水圏生物の持続的な資源利用と生物多様性の保全を実務的に取り扱うための能力を身につける。	高井 則之	2	前期 金	5	1014	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源生産科学専攻(博士前期課程)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
森林資源生産学特講	森林資源の管理保全、生物多様性の維持管理に関して、生態学、動物学、昆虫学、森林病理学に関する各分野の最新の知見を学ぶ。	太田 祐子	2	前期 水	5	1014	若干名
生産・流通環境工学特講	担当教員複数人によるオムニバス方式で講義を行う。講義内容は、各教員により異なるので、各教員の講義内容については講義ガイダンス時に説明する。代表的なものとして、現在用いられているエネルギーの種類と問題点、特に、化石燃料、核燃料、水力、風力、太陽光、地熱、海洋、および、生物資源エネルギーなどの各種エネルギーの利用について習得する。さらに、穀類の収穫後の調製技術や品質保持技術について考え、流通の仕組みや機能・役割別流通システムなどから、食料・農産物トレーサビリティによる食の安全まで習得する。前職で研究職の経験のある教員が、その経験を活かして、内外での現場における最先端の研究開発も説明する。	都 甲洙	2	前期 水	5	31	若干名

(履修申請受付期間： 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論Ⅱ	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。研究者や技術者の素養を構築するため、「大学院での研究、地球史、持続可能な農業・農村と食料問題、研究者と社会責任、研究倫理」をテーマに講義を行う。	松本 礼史	4	後期 月	1~ 2	31	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源利用科学専攻(博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 I	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。生物資源の確保、開発、利用等に係る諸問題について、生物資源生産科学、生物資源利用科学、応用生命科学、生物環境科学、生物資源経済学の各領域の立場から講述し、これらの境界領域を埋め、総合化を図る。	松本 礼史	4	前期 月	1~ 2	31	若干名
生物資源成分機能学特講	生物資源としての動物および植物の生体および生体成分の構造と機能,並びにこれらの生体成分の有効利用方法,特に生物および素材を加工して作る農産食品,畜産食品,水産食品の機能性向上のための研究方法などを実例に基づいて解説する。	福島 英登	2	前期 火	1	72	若干名
生物資源利用化学特講 I	生物資源利用の基礎となる、天然物や未利用資源の有効利用に関する生物資源利用化学、天然物化学、分析化学的アプローチや食品安全規制にかかわるレギュラトリーサイエンスに関連した手法や解析技術、および具体的な研究事例や産業戦略を概説する。これらを体系的に理解し、生物資源利用に活かせる知識を身につける。	松藤 寛	2	前期 火	5	82	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源利用科学専攻(博士前期課程)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
微生物利用学特講	微生物利用学,並びにそれを支える微生物機能学の基礎的および応用的な内容につき最新の情報を把握,理解できるようにする。ポストゲノムシーケンス時代を迎え,微生物の利用も遺伝情報科学の進展と相俟って新たな進展を遂げており,この面での理解力を高める能力を身につける。また,微生物の新たな利用に成功した広範な応用技術やトピックスを紹介し,討論も取り入れより習熟度を深める。	荻原 淳	2	前期 火	2	132	若干名
食品成分化学特講	食品成分の理化学的性状、栄養成分の摂取状況と生理作用および代謝作用並びに健康維持増進への効果、さらに化学物質のリスクと分析方法、また実際の食品の特性などについて学習し、食品研究者としての知識と技術を修得する。	細野 朗	2	前期 月	4	82	若干名

(履修申請受付期間： 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論Ⅱ	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。研究者や技術者の素養を構築するため、「大学院での研究、地球史、持続可能な農業・農村と食料問題、研究者と社会責任、研究倫理」をテーマに講義を行う。	松本 礼史	4	後期 月	1~ 2	31	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり,変更となる場合があります。

※科目の詳細については,シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 応用生命科学専攻(博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 I	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。生物資源の確保、開発、利用等に係る諸問題について、生物資源生産科学、生物資源利用科学、応用生命科学、生物環境科学、生物資源経済学の各領域の立場から講述し、これらの境界領域を埋め、総合化を図る。	松本 礼史	4	前期 月	1~ 2	31	若干名
分子生物学特講	担当教員の研究課題を中心にして、タンパク質の生合成と分解・環境応答・遺伝的組換え・タンパク質の発現の分子メカニズムについて講義と討論を行う。	舛廣 善和	2	前期 水	1	156	若干名
細胞生物学特講	遺伝子工学、細胞工学を取り入れた動物および植物の細胞生物学は先端技術分野で重要な学術の柱である。動物については、細胞・発生生物学を基盤とする動物の幹細胞生物学および細胞・発生工学の最新の知見について講義を行う。植物については、二次代謝と環境応答に関連した細胞応答の最新の知見とその遺伝子工学的应用技術、また次世代以降の遺伝子組換え植物の展望に関して議論する。これらを通じて動物・植物細胞の分化機構の異同を探る。	加野 浩一郎	2	前期 月	5	136	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 応用生命科学専攻(博士前期課程)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生体機能学特講	動物の統合的な生命体の仕組みをいくつかの臓器を例にとり、その構造と生理機能とを関連付けながら学習する。特に、生体の持つ複雑かつ巧妙な生理機能に関しては、分子レベルで化学的な面から理解する。各論では細胞から組織、器官へといくつかの動物種を例に段階的に学習し、全体として動物の機能的な組み立てが知識として構築できるようになる。絶えず生命体全体を意識しつつ考えることができるようになる。	関 泰一郎	2	前期 月	4	136	若干名
分子生態学特講	環境中における生物の動態を分子レベルで解明する観点からその研究手法等について総合的に講述するとともに、特に微生物を中心として、環境中におけるウイルスを含む微生物の動態解析ならびに環境適応に関連する微生物の生態、各種機能の解析およびその開発、利用について講述する。	高野 英晃	2	前期 火	5	135	若干名

(履修申請受付期間： 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論Ⅱ	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。研究者や技術者の素養を構築するため、「大学院での研究、地球史、持続可能な農業・農村と食料問題、研究者と社会責任、研究倫理」をテーマに講義を行う。	松本 礼史	4	後期 月	1~ 2	31	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学： 日本大学大学院

研究科(専攻)： 生物資源科学研究科 生物環境科学専攻(博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位：このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間： 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 I	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。生物資源の確保、開発、利用等に係る諸問題について、生物資源生産科学、生物資源利用科学、応用生命科学、生物環境科学、生物資源経済学の各領域の立場から講述し、これらの境界領域を埋め、総合化を図る。	松本 礼史	4	前期 月	1~ 2	31	若干名
緑地環境計画学特講	本特講では公園緑地概念の形成とその歴史的発展といった緑地学原論、自然保護や景観保全から新たな自然環境復元・創出に至るまでの緑地計画論、植栽・緑化から緑の維持管理に至るまでの技術論、緑地資源を活かした地域づくり等について、各地の事例を紹介しつつ解説する。	大澤 啓志	2	前期 金	3	63	若干名

(履修申請受付期間： 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 II	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。研究者や技術者の素養を構築するため、「大学院での研究、地球史、持続可能な農業・農村と食料問題、研究者と社会責任、研究倫理」をテーマに講義を行う。	松本 礼史	4	後期 月	1~ 2	31	若干名
環境ストレス生理学特講	本特講では、ストレスの定義や生物におよぼす環境ストレスの種類、また、環境ストレスが生物に与える影響、耐性のためのストレス応答の生理・生化学的機構やその関連遺伝子、生物における環境ストレスに対するシグナル伝達と適応の分子機構などについて講述する。さらには遺伝子組換えによる耐性生物の分子育種等、ストレス耐性に関する生理学を中心とした知見を講述することを通して、ストレス耐性生物とその利用法としての環境修復・保全に関する知識を深める。	新町 文絵	2	後期 月	3	73	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学： 日本大学大学院

研究科(専攻)： 生物資源科学研究科 生物環境科学専攻(博士前期課程)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
環境生態学特講	異なる環境間の相互関係のなかで、様々な環境要素が果たす役割を主に生物学および化学的視点から論議する。環境が生物にあたる影響も含め、合成・天然化合物の地球化学的挙動を解説する。また、生産にともなう環境変化が生態系へ与える影響を、物理・化学・生物因子に基づいて解説する。さらに、生物体を構成する炭素・窒素・リンや主要な合成化合物の循環過程と生物群集との関わりを考慮に入れながら、生態系の動的安定性および遷移機構について解説する。	西村 知良	2	後期 水	4	155	若干名
環境保全情報学特講	地域、国土および地球規模の生態系環境の保全対策について、自然環境構成要因(環境要因)の特質・分布と生態系環境の変化のパラメータに関する調査・計測と情報収集、ならびに集積データ・情報の処理と数理解析から、それらの総合的な応用としての環境変化予測、保全創造対策、環境・技術者倫理までの学理を体系的に学ぶ。	串田 圭司	2	後期 水	1	155	若干名

特記事項

授業期間

前期：4月10日(金)～7月30日(木)

後期：9月23日(水)～1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源経済学専攻(博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源科学特論 I	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。生物資源の確保、開発、利用等に係る諸問題について、生物資源生産科学、生物資源利用科学、応用生命科学、生物環境科学、生物資源経済学の各領域の立場から講述し、これらの境界領域を埋め、総合化を図る。	松本 礼史	4	前期 月	1~ 2	31	若干名
食品産業論特講	前半は食品産業の市場規模、戦後食品製造業史の概観、食品製造業の業種・規模別特徴からみた生産構造、食品製造業の市場構造・競争構造など企業の経営環境などの総括的な食品産業論を詳述し、後半は経営環境に対する食品製造業の経営行動・経営戦略、食品産業に対する諸施策等に関する包括的な知識と食品産業に関する考察手法について詳述する。	大石 敦志	2	前期 木	2	82	若干名
生物資源経営学特講	生物生産の担い手である経営体の経営史、現状およびその経営戦略について、経営学を学習する中で理解を深める。農業経営、畜産経営および食品企業経営の基礎となる経営学、とくに経営戦略、経営管理について講義し、討論する。個別的課題の事例研究も交えながら、経営の方向性および研究の方向性について検討を行う。	李 裕敬	2	前期 水	5	73	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源経済学専攻(博士前期課程)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能学生数
マーケティング特講	この授業では生物資源科学におけるマーケティングを学ぶ姿勢を確立するために、実践力を持てるようにする。また、飽食社会におけるマーケティングの機能と課題についてディスカッションを行い、これからのマーケティングの在り方についても興味・関心を持てるようにする。	小谷 幸司	2	前期火	1	81	若干名
国際資源経済論特講	本講義では、最新の文献を利用して東アジア等における経済の相互依存と経済協力の現状と経済共同体形成に向けた動きを学ぶことにより、世界的視点から資源問題の現代的課題について理解する。	高橋 巖	2	前期水	1	82	若干名
農村開発論特講	気候変動等の地球規模の課題や、日本を含む、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸地域の農村社会が直面する諸課題と、それらに対する政策対応状況を把握し、今後の研究課題を発見し、研究手法を会得し、研究計画を策定し、研究成果を公表する方法等について学ぶ。	飛田 哲	2	前期火	5	72	若干名

(履修申請受付期間： 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能学生数
生物資源科学特論Ⅱ	当特論は、生物資源科学研究科の専攻横断的な講義である。研究者や技術者の素養を構築するため、「大学院での研究、地球史、持続可能な農業・農村と食料問題、研究者と社会責任、研究倫理」をテーマに講義を行う。	松本 礼史	4	後期月	1~2	31	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源生産科学専攻(博士後期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使います。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
植物生産科学特講	本講義では、過去の学問的成果の上に立って、栽培植物の増収と品質改善について、将来への方向性を探る。さらに、現在、急激に進行しつつある地球環境の変化にどう対応するか、環境保全型、低投入・持続型農業をどう実現していくかについても考える。	立石 亮	2	前期 月	5	82	若干名
動物生産科学特講	人類は動物のもつ有用な形質を資源として開発し人間生活に利用してきた。遺伝資源の開発手段としては育種学的方法が、その効率的拡大手段としては繁殖学的方法が用いられ、それらは近年、飛躍的に進展した。また改良された動物を飼養して行くには、それら高能力動物に関する栄養的な特性や、それらを充足する栄養素や飼料に関する専門的な知識も必要となる。また同時に地球環境の将来も見据えた循環型生産の視点も重要となる。本特講は、これら現代の動物生産に関する各分野の専門教員を通して基礎と応用を学び、最新情報に関しても理解する。	佐伯 真魚	2	前期 水	1	155	若干名
生産環境工学特講	複数の教員によるオムニバス方式で、各教員の専門分野に関する内容について講義を行う。主な講義内容は、生産環境調節とエネルギー、農産物生産機械・施設とエネルギー、農産物の加工、流通、品質保持、制御技術に係る工学的な技術について講義する。	都 甲洙	2	前期 火	4	136	若干名

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源生産科学専攻(博士後期課程)

(履修申請受付期間 : 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
水圏生物生産科学特講	水産資源の変動特性と対象生物の生態を理解し,最適な生産体制を考える力を付ける。	糸井 史朗	2	後期 月	5	1014	若干名
森林生産科学特講	世界中の森林が置かれている森林資源の利用の実態や砂漠化の実情、森林が持つ生物多様性保全機能や水土保全機能など環境保全に果たす役割、循環可能な資源として期待される森林の将来の活用方法等の学習をもとに修得する。時間ごとに与えられたテーマについて文献や研究報告を収集してレポートを提出する。森林管理に必要な知識の蓄積と森林管理学の原理を理解する。	太田 祐子	2	後期 水	3	1012	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり,変更となる場合があります。

※科目の詳細については,シラバスをご確認ください。

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 日本大学大学院

研究科(専攻)： 生物資源科学研究科 生物資源利用科学専攻(博士後期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間： 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源利用学特講Ⅱ	生物資源(動物,植物,海洋生物,微生物)を構成する物質や成分の特性および機能を体系的に理解する。各資源を食料や機能性素材として高度利用するための最新の研究手法を修得し、資源の有効利用に向けた課題解決策を論理的に提案・討議できる能力を身につける。	若林 素子	2	前期 月	1	32	若干名
生物資源利用化学特講Ⅱ	天然物や未利用資源を食品や化学品として有効利用するために、必要となる目的成分の同定や化学構造の解明、分析定量法、ならびに安全性に関する基本的な考え方と実践的手法を学ぶ。クロマトグラフィーやクロマトグラフ-質量分析計、核磁気共鳴分光法、標準品を用いた定量分析と標準品を用いない定量分析、有害成分の分析法について、体系的に理解することを目的とし、化学的な生物資源利用に活かせる知識を学ぶ。	松藤 寛	2	前期 火	1	31	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり,変更となる場合があります。

※科目の詳細については,シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 応用生命科学専攻(博士後期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能 学生数
生体分子科学特講	生物の捕食者誘導による表現型の可塑性とそのメカニズム、微生物の細胞構造上の特性と生物における多様性とその基礎について講述し、考察する。	森 司	2	前期 火	5	132	若干名
生体機能科学特講	最新の国際専門誌に掲載された論文について、その内容を解説し、受講者と討論する。	関 泰一郎	2	前期 水	5	132	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物環境科学専攻(博士後期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
環境創造保全学特講	地球規模から身近な局所レベルまでの環境について、その復元・保全のあり方、新しい環境創出のあり方について解説する。従来の自然環境破壊の例を参考にしながら、水域及び陸域環境の保全を中心とする地球規模の環境創出のあり方を論議する。また、身近な局所レベルにおける環境保全の歴史と、それらが創出されたダイナミクスを解説する。さらに、森林生態系の環境保全機能を例として、自然環境の保全・再生に関する理論について論議する。	西村 知良	2	前期 水	1	158	若干名
環境情報科学特講	環境資源および環境の保全・創造についてのデータ・情報の計測・調査、集積および解析、環境変化予測、環境・技術者倫理等について、国内外の研究の歴史的展開と近年の動向を学ぶ。	ロイ キンシュック	2	前期 水	5	144	若干名

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり、変更となる場合があります。

※科目の詳細については、シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 日本大学大学院

研究科(専攻): 生物資源科学研究科 生物資源経済学専攻(博士後期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和8年 4月 2日 ~ 令和8年 4月 7日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
食品流通・経営学特講	生物資源経営の生産物(食品)は、主にフードシステムを構成する生産経営体、食品加工業、流通業(卸・小売業)を経由し、消費者の手に届く。しかし、これら主体の構造・機能・戦略および課題はブラックボックスに包まれている。この授業では国民経済の視点から、フードシステムを担う各主体の研究を行う上で必要な基礎理論及び実証的研究方法を学習する。	小谷 幸司	2	前期 水	4	132	

(履修申請受付期間: 令和8年 9月 14日 ~ 令和8年 9月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
生物資源・食品経済学特講	農業及び食品産業の産業構造とその展開、原料農産物の生産と調達に関わる諸問題、農業の技術進歩と構造問題の現状、食品産業の経営戦略、農産物や加工食品の輸入動向等食料供給産業としての我が国農業及び食品産業について詳述する。	清水 みゆき	2	後期 火	3	73	

特記事項

授業期間

前期:4月10日(金)~7月30日(木)

後期:9月23日(水)~1月26日(火)

※開講曜日・時限・講義室は予定のものであり,変更となる場合があります。

※科目の詳細については,シラバスをご確認ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学: フェリス女学院大学

研究科(専攻): 人文科学研究科(英語英米文学専攻博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使います。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和 8年 4月 3日 ~ 令和 8年 4月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
イギリス文学研究2A	イギリスの社会と探偵小説(シャーロック・ホームズ)	向井 秀忠	2	月	5	緑園	若干名
アメリカ文学研究1A	Toni Morrisonの作品を味わう(2)	小泉 泉	2	火	2	緑園	若干名
アメリカ文化研究1A	アメリカ映画研究(1)	関口 洋平	2	月	2	緑園	若干名
北アメリカ歴史・社会研究1A	アメリカ史学史概論	梅崎 透	2	木	1	緑園	若干名
英語学研究2A	談話分析と相互行為の社会言語学	饒平名 尚子	2	水	1	緑園	若干名
イギリス文学演習1A	初期近代イギリス研究:一次資料を使う	富樫 剛	2	火	3	緑園	若干名
イギリス文学演習3A	シェイクスピア演習A	由井 哲哉	2	火	2	緑園	若干名
北アメリカ歴史・社会演習2A	多人種・多民族・多文化のアメリカを考えるA	中川 正紀	2	木	5	緑園	若干名
英語学演習1A	第二言語習得研究1 効果的な英語学習・教育への示唆	大畑 甲太	2	金	5	緑園	若干名

(履修申請受付期間: 令和 8年 9月 11日 ~ 令和 8年 9月 28日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
イギリス文学研究2B	イギリスの社会と探偵小説(アガサ・クリスティほか)	向井 秀忠	2	月	5	緑園	若干名
アメリカ文学研究1B	Charles JohnsonのMiddle Passageを読む	小泉 泉	2	火	2	緑園	若干名
アメリカ文化研究1B	アメリカ映画研究(2)	関口 洋平	2	火	2	緑園	若干名
北アメリカ歴史・社会研究1B	アメリカ史学史概論B	梅崎 透	2	木	1	緑園	若干名
英語学研究2B	Critical Discourse Analysis 入門	饒平名 尚子	2	水	1	緑園	若干名
イギリス文学演習1B	初期近代イギリス研究:一次資料を使う	富樫 剛	2	火	3	緑園	若干名
イギリス文学演習3B	シェイクスピアの歴史劇	由井 哲哉	2	火	2	緑園	若干名
北アメリカ歴史・社会演習2B	多人種・多民族・多文化のアメリカを考えるB	中川 正紀	2	木	5	緑園	若干名
英語学演習1B	第二言語習得研究2 効果的な英語学習・教育への示唆	大畑 甲太	2	金	5	緑園	若干名

特記事項

本学学生の履修者がいない場合は休講となります。

開講方法、科目内容、教室の詳細はシラバス (<https://passport.ferris.ac.jp/>) をご参照ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大学: フェリス女学院大学

研究科(専攻): 国際交流研究科(国際交流専攻博士前期課程)

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間: 令和 8年 4月 3日 ~ 令和 8年 4月 17日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能学生数
法秩序と現代社会	社会科学に関する外国語文献を読む	荒井 真	2	金	5	緑園	若干名
観光マーケティング	観光ビジネスにおけるマーケティング戦略の探求	二木 真	2	金	3	緑園	若干名
ジェンダー論	ジェンダー、フェミニズム理論	山本 千晶	2	火	5	緑園	若干名
国際機構論	国際開発協力研究	高柳 彰夫	2	火	2	緑園	若干名
環境と持続可能性		高雄 綾子	2	金	5	緑園	若干名
ヨーロッパ地域社会研究	ヨーロッパ統合の特質とその課題	上原 良子	2	木	3	緑園	若干名
アジア文化論	中国のユートピア文学から考える	上原 かおり	2	木	4	緑園	若干名
ヨーロッパ現代思想	ジュディス・バトラー『分かれ道』を読む	矢野 久美子	2	木	4	緑園	若干名
日朝関係の歴史と現在		新城 道彦	2	木	5	緑園	若干名
日本経済の歴史と現在	現代日本経済研究	齊藤 直	2	木	5	緑園	若干名

(履修申請受付期間: 令和 8年 9月 11日 ~ 令和 8年 9月 28日)

科目名	科目の内容	担当教員	単位	曜日	時限	教室	受入可能学生数
現代社会論	現代社会と観光	ベンヤミン D. ミドルトン	2	木	3	緑園	若干名
国際政治論	国際政治理論	古内 洋平	2	月	2	緑園	若干名
ラテンアメリカ地域社会研究	移住の新世界:日本人の海外移住の歴史・社会・文化を事例に	ヒガ, マルセーロ	2	木	3	緑園	若干名
アジア地域社会研究	アジア経済成長のカギ:イノベーション	袁 媛	2	木	1	緑園	若干名
開発と地域社会	持続可能な発展をローカル・グローバルな視点から捉える	知足 章宏	2	木	2	緑園	若干名
家族と地域社会	アジアの社会変動と家族	金香 男	2	木	3	緑園	若干名
ヨーロッパ文化論	近現代ヨーロッパの社会と文化	空 由佳子	2	木	4	緑園	若干名
ラテンアメリカ文化論		遠藤 健太	2	金	5	緑園	若干名
ヨーロッパの文化表象	ヨーロッパ近現代の視覚文化研究	木水 千里	2	月	4	緑園	若干名
日中関係の歴史と現在	日中関係の歴史的考察	泉谷 陽子	2	火	5	緑園	若干名
日本の環境問題	地球環境との関連性と環境ビジネス	佐藤 輝	2	水	2	緑園	若干名

特記事項

本学学生の履修者がいない場合は休講となります。
開講方法、科目内容、教室の詳細はシラバス (<https://passport.ferris.ac.jp/>) をご参照ください。

**令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学: 文教大学

研究科(専攻): 情報学研究科 情報学専攻

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間 : 令和8年 4月 1日 ~ 令和8年 4月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
プロジェクトマネジメント特論	※	関 哲朗	2		未定		若干名
社会調査特論	※	佐久間 勲	2		未定		若干名
コンテンツ評価特論	※	岡野 雅雄	2		未定		若干名
映像メディア特論	※	竹林 紀雄	2		未定		若干名
経営戦略特論	※	石塚 浩	2		未定		若干名
質的調査特論	※	日吉 昭彦	2		未定		若干名
情報数理特論	※	青木 和麻呂	2		未定		若干名
情報視覚化特論	※	梶並 知記	2		未定		若干名
社会情報特論	※	白土 由佳	2		未定		若干名

(履修申請受付期間 : 令和8年 9月 1日 ~ 令和8年 9月 4日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教室	受入可能 学生数
経営情報特論	※	根本 俊男	2		未定		若干名
情報基礎特論	※	大橋 洸太郎	2		未定		若干名
情報コンテンツ特論	※	川合 康央	2		未定		若干名
情報システム特論	※	阿部 秀尚	2		未定		若干名
社会システム特論	※	松本 修一	2		未定		若干名
コンテンツ企画特論	※	佐野 昌己	2		未定		若干名
ウェブ・コンテンツ特論	※	池辺 正典	2		未定		若干名

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト

大 学： 文教大学

研究科(専攻)： 情報学研究科 情報学専攻

財務会計情報特論	※	石田 晴美	2	未定	若干名
ヒューマンインタフェース特論	※	武藤 剛	2	未定	若干名
消費者行動特論	※	石井 健一	2	未定	若干名
情報化戦略特論	※	西尾 好司	2	未定	若干名

特記事項

※「科目の内容」は本研究科webサイト、あるいは、電子シラバスを参照のこと。(3月末頃の公開予定)

令和8(2026)年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト

大学： 明治大学

研究科(専攻)： 農学研究科

※各大学窓口担当者各位:このまま学生閲覧用に使用します。研究科(専攻)別にご用意ください

(履修申請受付期間： 2026年 4月 16日 ~ 2026年 4月 17日)※受付終了時刻は未定。

特記事項

農学研究科博士前期課程の講義科目(演習科目を除く)が原則受講可能です。